



上津江

## Kamitsue



## 立派に実りますように

5月4日、手水野集落で今年初めての田植えが行われた。田んぼの所有者である前野次夫さんは、「稲刈りをすする9月初旬までの間、イノシシが田と隣接する河川から、高さ2m程度の石垣を伝って田を荒らすことが心配事」と話した。標高が高い上津江地域では、この時期に田植えを始める農家も多く、5月の連休の合間に見る、少し早い中山間地域の「のどかな風景」であった。

## 豪華な花房 シャクナゲ花開く

4月中旬、上津江シャクナゲ園ではシャクナゲの花が満開となった。旧上津江村の村花でもあったシャクナゲは、この時期になると民家の庭先でもよく目にする事ができる。園の関係者によれば、以前は5月の連休が見頃だったが、近年は10日ほど早くなっているとのこと。鹿児島市から初めて訪れたという観光客は、大きく豪華な花房に驚いた様子で見入っていた。

天瀬

## Amagase



## いち、に、さん!!

4月27日、天瀬児童館で乳幼児を対象とした「リズム遊び」が開催された。アンパンマン体操の曲に合わせて職員が掛け声を掛けると、「いち、に、さん!」と大きな声で答えながら、はしゃぐ子供たち。保護者と手をつないで駆け回ったり、寝転がったりと、リズムに合わせて元気いっぱい体を動かした。弾けるような笑顔と笑い声が飛び交う、楽しいひとときとなった。

## 待ってました!天ヶ瀬座

4月8日、天瀬公民館で「素人芝居劇団天ヶ瀬座」による公演が行われた。これは、令和2年7月豪雨と新型コロナウイルス感染症の影響で、4年ぶりの公演。市内外から多くの人々が観劇に訪れる中、時代人情劇「三人の運命」が上演された。役者の熱演に会場は笑いと涙、拍手に包まれ、厄災払いと復興を祈念した餅まき、キッチンカーの出店もあり、大いに賑わっていた。



日田

## Hita



## 花笠をかぶって、五穀豊穡

4月15日、大原八幡宮で御田植祭(大分県指定無形民俗文化財)が行われた。御田植祭は、五穀豊穡と無病息災を祈願する祭典。境内に縄を張り、水田を再現し、牛と牛使いに扮した氏子が田をすく様子を演じた。また、早乙女に扮した園児が、花笠をかぶって五穀豊穡を願い田植行事を行った。牛の動きと園児たちのかわいらしさに参列者からは拍手が起き、笑顔あふれる行事となった。

## 世界の名車が集結!

4月15日、「チェント・ミリアかみつえ2023」が開催された。この催しは、平成13年から続く、約320kmに渡る2日間のツーリングイベント。当日は、全国から世界の名車96台が日田駅前に集結し、多くの人々が歓声を上げる中出発した。数々のクラシックカーは豆田町や日田温泉街、天瀬・大山エリアを経由し、ゴールである山鹿市八千代座を目指して颯爽と駆け抜けた。



## こいのぼり おもしろそうに泳いでる

5月2日、子供の健やかな成長を考える児童福祉週間の一環として、市内の子供たちが作成した「こいのぼり」約200匹が日田駅南広場に設置され、初夏の青空を元気いっぱい泳いだ。「こどもまんなか社会」の実現に向け、「日田のまんなか」をおもしろそうに泳ぐこいのぼり。子供たちが将来にわたって幸福な生活が送れるよう、1匹1匹に願いが込められていた。

## 白熱!水郷杯サップマイルレース

4月16日、三隈川で「第2回水郷杯サップマイルレース」が行われた。このイベントは、「三隈川の存在とその魅力を伝えたい」「この豊かな景色を未来へつなぎたい」という思いで開催されたもので、子供から大人まで約150人が出場した。日田の自然あふれる景観の中、気合十分でスタートした選手たち。大会は5種目で行われ、選手たちはゴールを目指し、熱いレースを繰り広げた。